

## 報道各位

**第1回 復興宇宙サミット 2023 in NARAHA 開催について**

一般財団法人ワンアースと檜葉町は、宇宙飛行士の山崎直子さんを迎え、下記の通り、東北復興宇宙ミッションに係る大規模イベントを開催しますので、ぜひ取材報道方、お願い申し上げます。

- 【名称】 第1回 復興宇宙サミット 2023 in NARAHA  
【日時】 2023年8月5日(土) 10時から17時  
【会場】 檜葉町コミュニティセンター大ホール(双葉郡檜葉町大字北田字鐘突堂5-4)  
【主催】 一般財団法人ワンアース 【共催】 檜葉町  
【内容】

東日本大震災など大災害からの復興を目指して各地の自治体とともに一般財団法人ワンアースが進めてきた宇宙文化事業の集大成として、「東北復興宇宙ミッション 2021」および「きぼうの桜計画」によって縁を紡がれた全国の自治体代表や、次世代を担う少年少女らが檜葉町に集結して意見交換と交流のリユニオンを行う。宇宙規模の継(きずな)で結ばれた地域交流の力を、大震災の記憶・教訓とともに次世代に伝承していく真夏の祭典。

今回は、東北復興宇宙ミッション実行委員長である山崎直子宇宙飛行士(ワンアース名誉顧問)を迎え、青少年向けに講演していただくほか、参加20自治体の首長らと各地の中高生代表らが対等の立場で意見を交わす交流トークの場を設定する。

フィナーレでは、歌手のしゅうさえこ先生(14代目NHKうたのおねえさん)の指導により会場全体で心を合わせて宇宙の歌を合唱する。

このサミットは、コロナで中断していた「きぼうの桜サミット(2017~2019)」の主旨を引き継ぎ、5年ぶりに福島県檜葉町で開催することになった。以後、各地持ち回りで毎年開催する予定である。

\*タイムテーブルの概要を別紙に示す

\*山崎直子宇宙飛行士の講演時刻は13:30-14:30(後半は子どもたちからの質疑応答)

**【参加者】(以下の各自治体代表者) 順不同**

岩手県洋野町、宮城県石巻市・名取市、山形県米沢市・飯豊町、福島県伊達市・福島市・川俣町・浪江町・双葉町・大熊町・富岡町・檜葉町・いわき市、山梨県北杜市、新潟県糸魚川市、兵庫県南あわじ市、鳥取県湯梨浜町、高知県仁淀川町

\*各地代表者を別紙に示す

**【参加校】(以下の学校の代表者) 順不同**

新潟県立糸魚川白嶺高等学校  
山梨県北杜市立甲陵高等学校  
福島県川俣町立川俣中学校  
福島県立ふたば未来学園高等学校  
福島県檜葉町立檜葉中学校  
福島県檜葉町立檜葉小学校



**<留意事項等>**

- 撮影は随時可能ですが、お席については会場係員の指示に従ってください
- 東北復興宇宙ミッションの概略を別紙に示します

【お問い合わせ】 一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川洋一  
TEL: 09092308586 Mail: [hasegawa@the-one-earth.org](mailto:hasegawa@the-one-earth.org)  
HP: <http://www.the-one-earth.org/jp/>

# 2023年8月5日(土) サミット

檜葉町コミュニティセンター大ホール

時刻	イベント	内容	備考
9:00	関係者入場	9時以降、自由に入退場してください	各地代表者、小中高生にはお席のエリアを指定
10:00	宇宙文化祭	檜葉町コミュニティセンター大ホールにて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 檜葉町天神太鼓演奏</li> <li>・ 新潟県立糸魚川白嶺高等学校</li> <li>・ 山梨県北杜市立甲陵高等学校</li> <li>・ 檜葉中学校 Nalys 活動報告</li> <li>・ 宇宙ミッション報告 (ワンアース長谷川)</li> </ul>	一般開場 9:30
12:00	昼食		
13:00	継の祭典 第1部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 歓迎の御挨拶 (檜葉町・松本幸英町長)</li> <li>・ 檜葉小学校からの発表 (20分)</li> <li>・ 山崎直子宇宙飛行士記念講演 (講話 30分、質問タイム 30分)</li> </ul>	山崎さんに質問しよう 
14:30	交流タイム(休憩)	ホワイエにて各地の展示発表もあります。	
15:00	継の祭典 第2部	交流トーク (ディスカッション) 「宇宙の継 (そらのきずな)」 各地代表 1分スピーチ後、青少年らまじえて自由討議 ☆宇宙タマネギ贈呈式 (淡路島→浪江町) 各地代表集合記念撮影	各地代表登壇 (山崎宇宙飛行士も登壇)
15:50	交流タイム(休憩)	ホワイエにて各地の展示発表もあります。	
16:20	継の祭典 フィナーレ	しゅうさえこ歌のステージ (14代目 NHK うたのおねえさん登場♪) ソロの歌披露のあと、歌唱指導あり ♪全体合唱「きぼうの桜」(参加者も登壇自由) 全員撮影 (参加各地客席前方へ)	
17:00	終演、撤収等等		

会場 檜葉町コミュニティセンター(檜葉町大字北田字鐘突堂5番地の4) 電話: 0240-25-4701



第1回 復興宇宙サミット 2023 in NARAHA  
 交流トーク登壇メンバー(敬称略)

地域	お名前 (敬称略)		肩書き
宇宙飛行士	山崎 直子	やまざき なおこ	東北復興宇宙ミッション実行委員長 一般財団法人ワンアース名誉顧問
福島県檜葉町	松本 幸英	まつもと ゆきえい	町長
	木村 遥人	きむら はると	ふたば未来学園高等学校
岩手県洋野町	大芦 俊一	おおあし としかず	特定政策推進室長
山形県米沢市	中川 勝	なかがわ まさる	市長
山形県飯豊町	後藤 幸平	ごとう こうへい	町長
宮城県石巻市	千葉 宏一	ちば こういち	政策企画課長
宮城県名取市	山田 司郎	やまだ しろう	市長
福島県伊達市	須田 博行	すだ ひろゆき	市長
福島県福島市	丹治 誠	たんじ まこと	市議会議員
福島県川俣町	佐久間 裕晴	さくま ひろはる	教育長
	安部 結愛	あんべ ゆいか	川俣中学校
	飯野 百南	いいの もな	川俣中学校
福島県浪江町	成井 祥	なるい あきら	副町長
福島県双葉町	徳永 修宏	とくなが のぶひろ	副町長
福島県大熊町	島 和広	しま かずひろ	副町長
福島県富岡町	竹原 信也	たけはら しんや	副町長
福島県いわき市	藤城 良教	ふじしろ よしのり	副市長
山梨県北杜市	上村 英司	かみむら えいじ	市長
	佐々木 康晴	ささき こうせい	甲陵高等学校
	興梠 武龍	こうろき たける	甲陵高等学校
新潟県糸魚川市	轟本 修一	つるもと しゅういち	教育長
	竹内 茉奈未	たけうち まなみ	糸魚川白嶺高等学校
	小野 さくら	おの さくら	糸魚川白嶺高等学校
兵庫県南あわじ市	西岡 義文	にしおか よしふみ	危機管理部長
鳥取県湯梨浜町	上井 明彦	かみい あきひこ	まちづくり企画課長
高知県仁淀川町	荒木 紀和	あらか のりかず	企画振興課長

青字は次世代を担う中高生のみなさまです

モデレータ	長谷川 洋一	はせがわ よういち	ワンアース代表理事
アシスタント	緑川 琴音	みどりかわ ことね	ワンアース青年部ディレクター 甲陵高校 OG・横浜国立大学4年

## 以下参考資料

◇東北復興宇宙ミッションの概要

◇きぼうの桜計画の概要

# 東北復興宇宙ミッション2021について

東日本大震災発災から10年にあたる2021年3月11日に、東北復興の姿と支援への感謝の気持ちを国際宇宙ステーション（ISS）から全世界に発信する宇宙ミッションが実現した。国際宇宙ステーション（ISS）を放送局に、野口聡一宇宙飛行士をアナウンサー役に見立てている。並行して被災地各自治体から植物の種などの記念品を宇宙フライトさせ、ポスト震災10年の復興と伝承に役立てていく。

## 【事業概要】

東日本大震災の記憶と復興10年のイメージを語る「写真」「記念品」「感謝の言葉」を国際宇宙ステーション（以下ISS）に打ち上げ、ISSを放送局に、野口宇宙飛行士をアナウンサー役に見立て、世界に広く感謝の気持ちを発信した。

山崎直子宇宙飛行士（一般財団法人ワンアース名誉顧問）を実行委員長とし、一般財団法人ワンアースが事務局となり、岩手、宮城、福島三県沿岸の被災全市町村を含む42市町村の首長からなる実行委員会を構成した。

復興10年を語る写真等は、各自治体から電子データで集め、福島県川俣町特産の絹羽二重薄布に高精細印刷し、同町の福田小学校6年生たちが縦1m横7mの横断幕に縫製し、これを打上げISSの日本実験棟「きぼう」内に展開した。JAXA野口聡一宇宙飛行士がその前に立ち（浮き）、各地で集めた550通に及ぶ世界への感謝のメッセージを要約して読み上げる。この模様を動画に収録し、2021年3月11日、全世界に公開した。<https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

一方、被災各地からの記念品（ご当地の花や農作物の種等等）を打ち上げる枠も（自治体ごとに10g）設定し、ポスト10年の復興への期待を担い2021年6月に打上げ、横断幕とともに2021年7月に地上帰還、以後各地で地域活性化や産業創生、震災の記憶と教訓の伝承に息長く役立てる。

復興庁の助成（東日本大震災発災10年復興発信事業）と文部科学省の後援、そしてJAXAの協力を得て進められるこの事業は、復興発信と地域活性化のみならず、市民参加型の新しい宇宙利用の実例としても注目されている。

## 【主なスケジュール】

～2020年10月： 横断幕製作（11月2日、JAXAへ引渡完了）

2020年12月中： 自治体ごとにメッセージ収集

2021年1月： 自治体ごとにフライトする記念品（ご当地の花や農作物の種等等）準備

2021年2月： 横断幕打上（米国アンタレスロケット&シグナス補給船）

2021年2月： 国際宇宙ステーションでJAXA野口宇宙飛行士が感謝のメッセージ動画を撮影

2021年3月11日： 感謝のメッセージ動画世界公開 <https://youtu.be/VUDlbSk5MHc>

2021年6月4日： 各地からの記念物品打上（米国ファルコン9ロケット&ドラゴン補給船）

2021年7月： 横断幕、各地記念品とも地上帰還（米国フロリダ沖着水・ドラゴン補給船）

2021年7～8月： 横断幕&各地記念品日本帰国、以後各地で復興および地域振興に活用

## 【実施体制】（51自治体・・・被災地42市町村、復興支援6市町村（\*）、岩手県、宮城県、福島県）

委員長 山崎直子（宇宙飛行士・一般財団法人ワンアース名誉顧問）

委員 東日本大震災で被災した42市町村の首長（内訳は別紙の通り）

特別委員（復興支援6市町村から4首長） 上村英司（山梨県北杜市長）、古味実（高知県仁淀川町長）、坂本浩之（福島県三春町長）、守本憲弘（兵庫県南あわじ市長）

事務局長 長谷川洋一（一般財団法人ワンアース代表理事・きぼうの桜計画代表）

特別協力 三陸鉄道株式会社、一般社団法人槌音、日本宇宙少年団福島分団、株式会社夢舞台、Tohoku Space Community、株式会社ElevationSpace、NPO法人チームふくしま、一般社団法人みちのく巡礼



# 東日本大震災10年

## 宇宙から世界に、ありがとう

### JAXA 野口聡一宇宙飛行士

SOICHI NOGUCHI, JAXA ASTRONAUT

復興の写真を集めた  
絹の横断幕・長さ7m



2021年3月11日  
世界公開

## 東北復興宇宙ミッションのライフサイクル



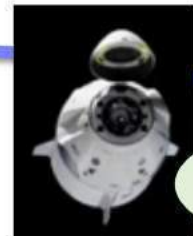
シグナス補給船



ドラゴン補給船



ISS内で感謝の動画撮影  
2021年3月11日に世界へ発信!!



米国スペースX  
ドラゴン宇宙船

2021年2月20日打上

2021年6月4日打上



アンタレスロケット



ファルコン9ロケット



宇宙に張り出された横断幕・長さ7m



2021年7月10日  
横断幕と記念品  
地上へ帰還



東北復興宇宙ミッション2021  
国際宇宙ステーション 日本実験棟「きぼう」フライト証明書

JAXA 有人宇宙技術部門  
きぼう利用センター長 小川 志保  
JAXA



各地の復興画像  
を刷った横断幕



各地の復興記念品  
花や農作物の種など

2020年7月  
プロジェクト  
本格始動

JAXA契約 7/20  
復興庁選定 7/31



宇宙を旅した素材で、  
ポスト10年の地域創生と震災の伝承







## きぼうの桜計画とは

一般財団法人ワンアースが推進する東日本大震災復興・伝承事業。

若田光一宇宙飛行士とともにその種が宇宙を旅した日本各地の巨大桜の直系子孫(宇宙桜)を津波到達点上に植え、千年風化しない避難の目印として、そして宇宙からも見える復興のシンボルとして、この星の子孫たちに残す事業。

東北三県被災地(約 40 都市)を中心に実施が計画されており、全被災都市への植樹を目指す。2023 年 2 月までに 17 都市で植樹完了(添付図参照方)。

近年は兵庫県南あわじ市(2019.2.18)、埼玉県吉川市(2019.4.6)、山形県米沢市(2019.10.19)、大阪府寝屋川市(2020.2.21)、山形県飯豊町(2020.10.31)、大分県竹田市(2021.2.5)、埼玉県さいたま市(2022.5.1)、新潟県糸魚川市(2023.5.9)など未来の子孫を守る防災減災目的で参加する都市も現れはじめた。

【宇宙桜とは】 2008 年に有人宇宙システム株式会社(JAMSS)が行った宇宙文化事業「花伝説・宙へ!」により誕生した桜。日本各地で少年少女らの手によって集められた千年級の名桜(山高神代桜、三春滝桜、根尾谷淡墨桜、醍醐桜、ひょうたん桜、角館武家屋敷枝垂桜など)の種が、若田光一宇宙飛行士とともに国際宇宙ステーション「きぼう」に8ヶ月半(2008.11/15 から 2009.7/31)滞在し、地球帰還後にそのごく一部が発芽して「宇宙桜」が生まれた。同宇宙事業を発案した長谷川洋一が、2015 年に一般財団法人ワンアースを設立した。宇宙桜の苗は現在でも稀少な宝物だが、ワンアースの呼びかけに応え、東北復興のためならば、と苗元各地は苗を増やし贈呈準備をしている。

### 【千年の津波の教訓は、千年の桜で伝承する】

宇宙桜は、樹齢千年級の名桜の直系子孫なので、大切に養育すれば三十一世紀まで生き続け、変わらぬ避難の目印として、大災害の記憶と教訓を伝承できる。

### 【名桜は風化しない、成長する】

宇宙桜は 30 年で大樹に、100 年で宇宙ステーション軌道から視認出来る巨大さ(高さ・枝張りとも 30 メートル級)に成長する。コンクリート等の人工物よりも風化しにくいモニュメントと言える。巨樹に育て上げるために、20 メートル四方程度の広い公共の土地を確保し、ツツジ等の低木でハート型の柵を作り、その中心に宇宙桜をただ 1 本植える。ハートの先端は、苗元の方角を指す。一本有るだけでツーリストが殺到するような桜は被災地全域を繋ぐスケールの大きな観光資源となろう。

### 【広域交流こそ再生の切り札】

対外交流は地域再生の起爆剤となる。本事業では参加する多数の地域がネットワーク的に交流する機会として「サミット」を毎年持ち回りで開催する。このサミットには首長級が多く参加し、桜とともに末永く息づく交流の礎とする。次世代をにやう中高生も楽しみながら参加できるような共通文化として、歌や物語りを創造し、大震災の記憶と教訓を、風化しにくい形で後世に伝承していく。

### 【お問い合わせ】

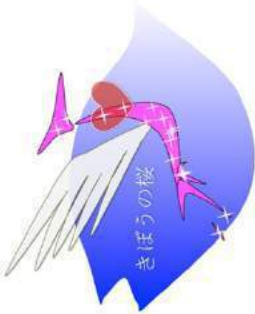
一般財団法人ワンアース 代表理事 長谷川洋一 (090-9230-8586)

[hasegawa@the-one-earth.org](mailto:hasegawa@the-one-earth.org)

詳細情報はワンアース HP ご参照方 <http://www.the-one-earth.org/jp/>

ワンアース HP の写真・情報等のご自由にお使いください(申請不要)

# きぼうの桜



津波の被害を受けた全ての市町村の津波到達点上に宇宙桜を植えます

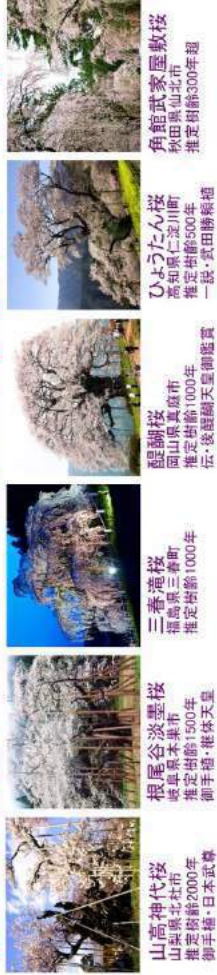
千年の津波から、千年の桜が守ってくれる

被災地に寄り添い、未来への決意を込めて参加する地域  
 ◎米沢市 ◎飯豊町 ◎吉川市 ◎寝屋川市  
 ◎淡路市 ◎南あわじ市 ◎丹波市 ◎竹田町  
 ◎さいたま市 ◎糸魚川市 ほか



- ①巨桜が避難の目印に安全圏を示す、子孫に伝承できる目標物
- ②雄々しい宇宙桜は希望のシンボル尋常でないその生命力は、観る者に生きる力を与えてくれる
- ③新しい観光資源として一本有るだけで渋滞が起こるほどの観光名所になる
- ④東北海岸で宇宙桜の巡礼ができる地域交流、そして数千年続く文化事業を、今、はじめよう

宇宙桜とは：若田光一宇宙飛行士とともに、宇宙を旅し、地球を4100周した名桜(日本三大桜含)の種から育てられた巨桜の直系子孫。数千年生き、公園の桜の数倍巨大化する、稀少な品種です。



山高神代桜  
山形県北庄市  
推定樹齢2000年  
御手埜・日本武尊

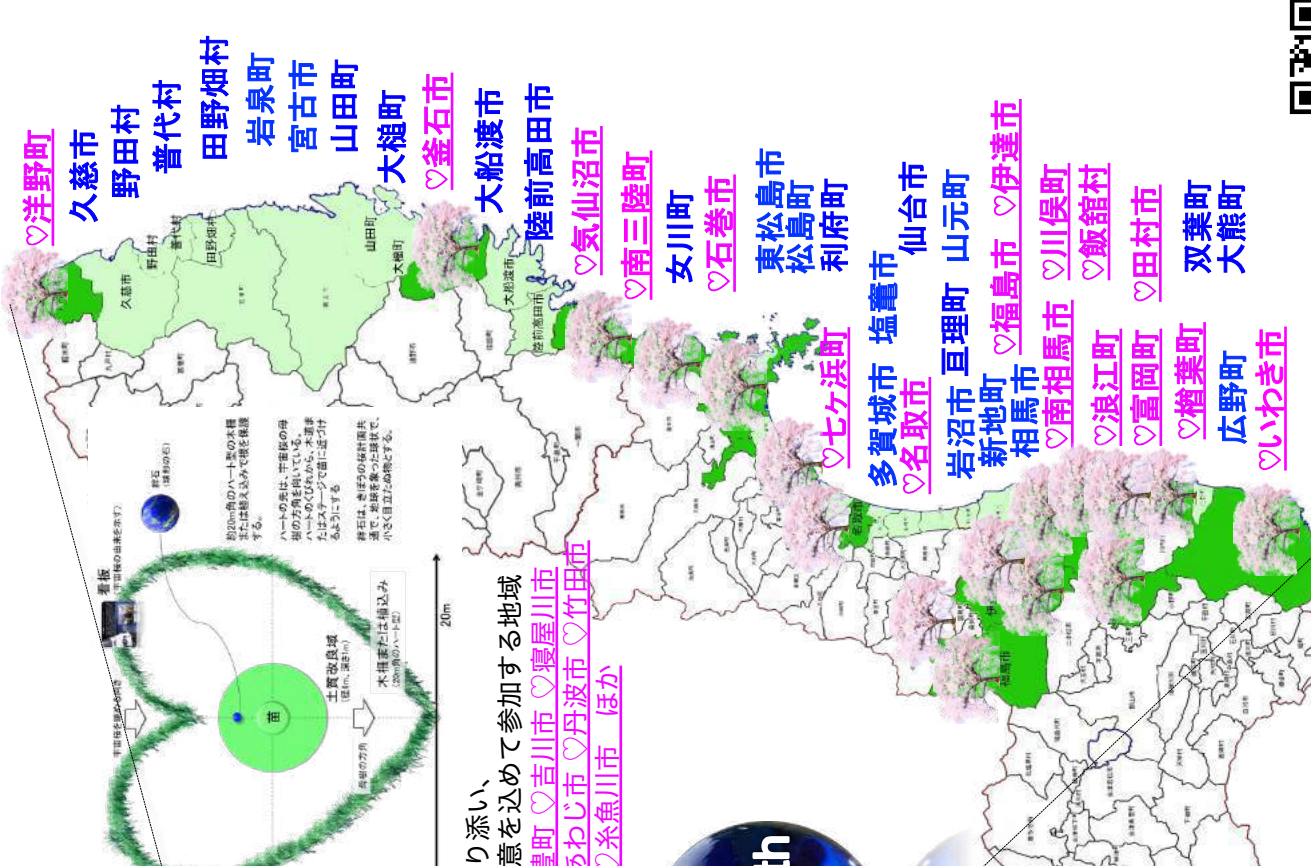
根尾谷淡墨桜  
岐阜県本巣市  
推定樹齢1500年  
御手埜・根尾天皇

三香滝桜  
福島県三春町  
推定樹齢1000年

醍醐桜  
岡山県真庭市  
推定樹齢1000年  
伝・後醍醐天皇御覽賞

ひょうたん桜  
高知県仁淀川町  
推定樹齢500年  
一説・武田勝頼植

角館武家屋敷桜  
秋田県仙北市  
推定樹齢300年超



桜色は植樹済み(17)  
 <2023年5月時点>

一般財団法人ワンアース  
<http://www.the-one-earth.org/jp/>

